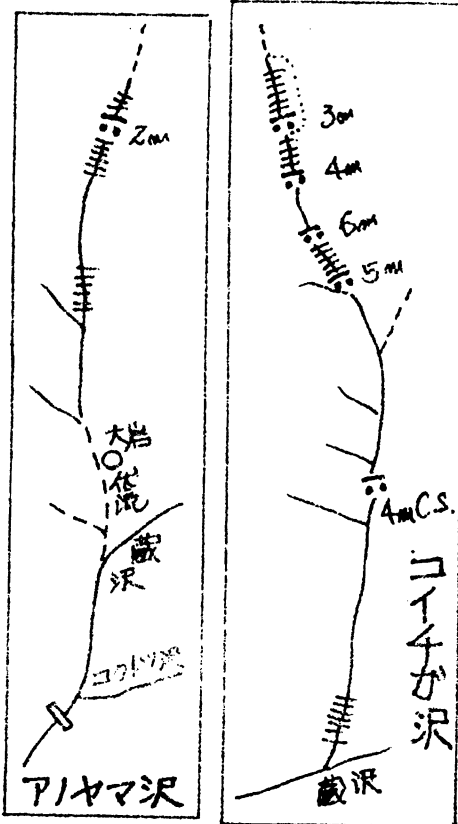


(記

[タイム] アノヤマ沢出合(8:00)→沢終了
(8:50)→黒滝股山(10:30)



コイチガ沢

1986年7月26日

L.

黒滝山ピークで小休止後、稜線を5分歩いてコイチガ沢へ下降する。この源頭部は急傾斜のナメ状で、クライミングダウンできず、左岸ぞいに灌木をつかみながら下降する。

4m滝はクライミングダウン。次の6mを懸垂下降するとまたナメ。そのあと5mの滝をクライミングダウンして、この沢の核心部は終わる。

あとは平凡な沢となる。途中の4mチョックストーン滝を本日2度目の懸垂下降で

通過すると、30分程で蔵川に出た。

コイチガ沢を遊行し、アノヤマ沢を下降した方が楽しめる。(記

[タイム] 下降開始(10:40)→蔵沢出合(12:40)

5. 霧来沢流域の沢

労山福島県連の沢登り集会として、只見川流域に入るのは、これが3回目である。今回は、霧来沢流域に的を絞って、大石田沢・金丸沢・押倉沢へと入る。以下、その時の記録を紹介する。